

がんプロ大学院生募集中!

コース概要

研究科	医学薬学総合研究科
専攻名	生命医療学専攻
養成する専門分野	がん薬物療法専門医
人数	若干名
修業年	4年（長期履修制度あり）
授与する学位	博士（医学）

専門医試験出願資格

※新専門医制度・腫瘍内科領域専攻医研修に関しては最新の状況が適用されます

1. 申請時において（医師国家試験合格後2年の初期研修を修了した後）5年以上がん治療の臨床研修を行っていること、および、がん治療に関する十分な業績があること ※国家試験合格：2016年以前の方
文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プランのもとで大学院医学博士課程を卒業したものは、2008年4月8日通知の5)の定めに従い、申請可能であること
2. 当学会認定研修施設において当学会所定の研修カリキュラムに従い、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の臨床研修を行い、これを修了していること
3. 各科の基本となる学会の認定医あるいは専門医の資格を有していること
4. 申請時において臨床腫瘍学に関連した論文1編（共著可）および当学会での発表1編以上（共著可）を行っていること
5. 申請時から遡って過去3年間に、当学会の主催する教育セミナーAセッション・Bセッションをそれぞれ1回以上出席（受講）していること
6. 当会会員は、申請書登録完了までに該当年度までの会費を納めていること

がんプロフェッショナル養成プラン がん薬物療法専門医養成コース

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランとは

がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人が、がんにかかると推計されるなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たながん対策が求められています。

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランは、大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進を目的としています。

和歌山県立医科大学は、大阪大学を中心に、兵庫県立大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、森ノ宮医療大学と共同でこの養成プランを実施しており、これら6大学がそれぞれの特徴を生かして連携することにより、がん専門医療人材を養成し、地域のがん医療の向上を図ることを目的としています。

本学には、従来より、緩和医療専門医養成コース、がん薬物療法専門医養成コース、がん看護専門看護師養成コースが設置されていますが、令和5年度には病理診断科育成コース、がん医療ビッグデータ活用ベーシックコース（インテンシブコース）が、令和6年度よりがんリハビリテーション看護インテンシブコースが、令和7年度には薬学部のがん薬剤師養成コースが新たに開設され、さらに充実した研修内容となっています。

大学院生募集

令和9年度 公立大学法人和歌山県立医科大学
大学院 医学薬学総合研究科（博士課程）
がん薬物療法専門医養成コース

【募集要項】

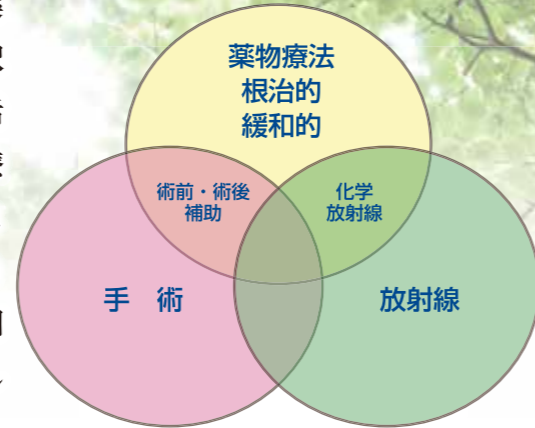
1. 入 学 期 日：令和9年4月1日
2. 募 集 人 員：若干名
3. 入学志願者資格：大学の医学を履修する課程を卒業した者、又は令和9年3月までに卒業見込みの者、又は同等以上の学力があると認められた者
4. 出 願 手 続：出願者は、所定の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。
5. 学 費 等：入学金 282,000円 授業料 535,800円（毎年5月、11月の2回に分納する。）他
6. 受付及び試験
事務取扱場所：〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学学生課入試学務班 TEL (073) 441-0702

詳細はホームページでご確認ください。
<https://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/daigakuin-sougou/boshuyoukou.html>



近年がん薬物療法は急速かつ多岐多様な進歩をとげており、エキスパートであるがん薬物療法専門医のニーズが国内外において高まっています。

がんの治療は、外科治療・放射線科治療・内科的治療（薬物療法や緩和治療）を受けられる方ごとに最適な治療を選択し必要に応じて組み合わせて行くことにより、質の高い生活に結びつく治療を受けて頂くことができます。近年がん治療における薬物療法の進歩は著しく、適切な治療を提供することで生存期間の大幅な延長を実現することが可能となりました。それ故、がん薬物療法の専門家（腫瘍内科医）が国内に展開し治療を実践していくことの必要性・重要性が増してきています。



将来のがん医療向上に貢献できるがん薬物療法専門医（腫瘍内科医）を育てることを目標としています。

がん薬物療法専門医（腫瘍内科医）の役割

1. 臨床腫瘍学を中心に、がんの基礎医学、臨床薬理学、緩和医療学を修得する。
2. 臓器横断的ながん薬物療法を修得した上で、病態や社会背景にも配慮した質の高いがん医療を実践する。
3. 診療科・職種横断的チームでリーダーシップを発揮する。
4. がん治療に関するコンサルテーションやセカンドオピニオンに適切に対応する。
5. 科学的な研究手法と論理的な思考を学んだうえで積極的に臨床試験を立案、推進、実践する。
6. がんゲノム医療を理解し適切に推進、実践できる。
7. がん薬物療法に伴う副作用に適正に対処できる。
8. 基本的緩和医療を実施できる。



本コースにおける4年間のスケジュール

1. 系統講義は2年を目処に履修します（大学院1-2年）。適宜 E-learning を使用し他学での講義も積極的に取り入れます。
2. OJT（On the Job Training）を含めた実地研修は呼吸器内科・腫瘍内科を軸に、病棟・外来（新薬の早期開発治験に関する実践研修を含む）、薬物療法センターやがんゲノム医療部門等をローテーションして実習・研修を行います。又、血液内科や緩和ケア部門等で実習・研修も可能です（大学院1-4年）。
3. 学位は所属科の研究で取得します（大学院1-4年）。
4. JSMO（日本臨床腫瘍学会）や ASCO（米国臨床腫瘍学会）等をはじめ、がんに関連する国内および海外主要学会への参加および学会発表・学位論文作成を積極的に行います（大学院1-4年）。
5. 院内の各種カンサーボードや主催講演会 / 勉強会などに参加し幅広いがん医療の知識を取得します（大学院1-4年）。
6. 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医資格の取得を目指します。

指導教授：教授 山本 信之



和歌山県立医科大学副学長
日本がんサポーターケア学会理事長
日本肺癌学会理事長
日本呼吸器学会常務理事
日本癌学会評議員
日本臨床腫瘍学会協議員

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科がん薬物療法専門医養成コースの特徴は、学位（博士）やがん薬物療法専門医の取得のみならず、その後の専門医としての個々のキャリアパスを支援して、従来の臓器別がん診療の枠にとらわれずに、臓器横断的な幅広い領域のがん薬物療法に精通した国際的次世代リーダーとなる腫瘍専門医の養成を目指しています。

がん薬物療法の進歩は目覚ましく、近年では、がんゲノム医療の実装化や、がんの新薬の相次ぐ開発等も含めて、常に、幅広い癌腫に対する最新の薬物療法を把握しておく必要があります。腫瘍内科と言えば一般的には、固形癌の治療医をイメージすることが多いですが、本コースでは、固型癌治療を専門にすると、血液癌に軸足を置いて固形癌診療も行うものの2つのタイプの腫瘍内科医を教員に配置することで、名実ともに、全てのがん治療の薬物療法、ゲノム医療、薬剤開発を経験することが可能です。従来の臨床腫瘍学の幅広い講義・演習・実習に加えて、がんの新薬早期開発の治験分担医師としての実務経験、がんゲノム治療部門における院内および学外のエキスパートパネル参加と実践による個別化医療に関する研修等を通じて、世界に通用する次世代の腫瘍内科医となる基盤を構築し、次のキャリアプランへ橋渡しできるよう指導いたします。

講演会 / 講義



院内開催の カンサーボード



がんゲノム医療部門



スタッフ：講師 泉 源浩・助教 小浴 秀樹



泉 源浩 講師



小浴 秀樹 助教